

## ■ 競技上の注意

本大会は現行の日本卓球ルールを適用する

### 1) ボール、用具、服装等について

- ・試合球はニッタク・ヴィクタス・バタフライのボールから選択する。選手が互いに異なったメーカーのボールを選択した場合はトスによって試合球を決定する。
- ・ラバーは、ラケット本体の外周いっぱいまで、しかも外にはみ出ないように覆うものとする。粒高ラバーの粒の欠損については認められない。
- ・ユニフォームはJ T T Aの公認マークが付いたものを着用する。対戦においては相手と同一のユニフォームであってはならない。同一の場合は主審がトスによってどちらが換えるかを決定する。各選手は色・柄の異なった2種類以上のユニフォームを用意する。
- ・学校対抗、ダブルスは同一のユニフォームを着用するものとする。ただしショーツ、スカートについては同系色のものであれば着用できる。

### 2) 競技中の確認事項

- ・ベンチアドバイザーはチームの監督もしくは高体連登録のある外部指導者、チームの選手とする。試合途中でコートから離れたとしてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。
- ・学校対抗でベンチに入れる選手は当該校の監督と登録されたメンバーのみ7名までとする。ただし審判員として1名を帯同しても良い。
- ・試合前の練習は片面3本または1分以内とする。
- ・ラケット、正規サービス（16cm以上のトス等）、促進ルールについて正しく理解すること。  
\*促進ルール：ゲーム開始後10分を経過しても終了しない場合に適用。ただし、双方の競技者または組のポイントの和が18ポイント以上の場合は、促進ルールは適用されない。
- ・ゲーム間の休憩、アドバイスは1分以内とする。
- ・個人戦の抗議は競技者のみが行うことができる。団体戦での抗議はチームの監督のみ行うことができる。
- ・競技者、監督、アドバイザーは相手競技者に対し不当な影響を与え、観客に不快感を与え、またはそのゲームの評判を落とすような仕草や態度を慎まなければならない。
- ・タイムアウト制は学校対抗の準決勝、決勝、北信越決定戦のみ実施する。
- ・応援については、他のコートの試合に配慮をする。

### 3) 遅延行為・5秒ルールについて

- ・競技は1マッチをとおして、継続的でなければならない。次のような場合は遅延行為とみなす。  
(なかなか球拾いに行かない、帰ってこない。プレーの再開が遅い。)
- ・テーブルについてからプレー再開までの時間は、5秒を目安とする(5秒ルール)。

## ■ 進行上の注意

- 1) ベンチは番号の若い方（団体・個人とも）がメインは本部側に向かって左側、サブは本部側。
- 2) 1日目はダブルスを決勝まで行う。北信越大会代表決定戦あり（男女共に6組）。
- 3) 2日目は女子学校対抗より行う。2台使用。番号の若いコートに整列し、挨拶。  
北信越大会代表決定戦あり。（時間短縮のため団体戦はプログラムの順番にならない場合あり）
- 4) 3日目はシングルスを決勝まで行う。北信越大会代表決定戦あり（男女ともに12名）。
- 5) 大会当日の練習コート  
東信 1～6    北信 7～12    中信 13～18    南信 19～24    フリー 25～30

## ■ その他

- 1) 貴重品、財布等の管理は自己で管理を徹底する。または、各校の顧問が管理する。
- 2) 撮影動画等 SNS への公開は他校選手の肖像権の関係でトラブルになる可能性があります。許可なく公開をしないでください。